

報道関係者各位  
(参考資料)



2013年6月13日  
株式会社ストラトスフィア

## ストラトスフィア、Interop Tokyo 2013 において特別賞を受賞

株式会社インターネットイニシアティブ(以下 IJ)と株式会社 ACCESS(以下 ACCESS)の合弁会社で SDN(※1)をベースとした基盤ソフトウェアの研究開発を行う株式会社ストラトスフィア(以下ストラトスフィア)の仮想ネットワークソリューション「OmniSphere, OmniWarp(オムニスフィア、オムニワープ)」(※2)が、6月12日より幕張メッセで開催されている「Interop Tokyo 2013」の「Best of Show Award」において特別賞を受賞しました。

<受賞内容>

ワークスタイルイノベーション部門

OmniSphere, OmniWarp



<OmniSphere について>

OmniSphere は、SDN 技術により企業の物理ネットワーク上に柔軟な仮想 L2(※3)ネットワークを構築することができるソリューションです。本ソリューションを利用することにより、企業のオフィスフロアや拠点間を結ぶ広域ネットワークを跨いで、PC・スマートデバイス等の端末や物理サーバ及びクラウドサーバを同一の仮想ネットワークで接続・管理することができます。これにより、従来、組織変更やレイアウト変更のたびに再構築、再設定していた LAN や無線 LAN のオフィスネットワークを、利用者(社員)の端末を認証するだけで自動設定することができ、企業ネットワークの運用管理負荷を大幅に削減します。

<Interop Tokyo 2013「Best of Show Award」概要>

Best of Show Award は、Interop 出展企業各社が 2013 年に発表・発売予定の製品をエントリーし、部門毎にその優秀性を競い合う賞です。200 に迫るエントリーの中から、部門毎に「グランプリ」と「特別賞」が選出されます。

- (※1) SDN(Software Defined Network): ネットワーク構成を動的に設定するために、ネットワーク全体をソフトウェアで制御(定義)する、という次世代ネットワーク技術のコンセプト。
- (※2) 2013年6月11日発表資料「ストラトスフィア、SDNで仮想オフィスネットワークを実現する『OmniSphere』を開発」  
(<http://www.ij.ad.jp/news/pressrelease/2013/0611.html>)
- (※3) L2(Layer 2): コンピュータの通信機能を階層構造化した「OSI参照モデル」における第2層。データリンク層。

## ■ストラトスフィアについて

株式会社ストラトスフィア(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:浅羽 登志也)は、SDN(Software Defined Network)技術をベースとして、次世代クラウド環境実現のためのプラットフォームを構築するソフトウェアスタックの研究開発を行う目的で、IJ(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:鈴木 幸一、東証第一部:3774)とACCESS(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:室伏 伸哉、東証マザーズ:4813)により2012年4月に設立されました。ストラトスフィア(= Stratosphere)は成層圏を意味し、雲(クラウド)よりも上層にあることから、クラウドを超えた上を目指していく意志を表しています。また、成層圏は、気象が不安定な対流圏を覆っている安定した層であることから、クラウド全体を包括して安定、発展させるための技術を提供する使命を表現しています。ストラトスフィアに関する詳細は <http://www.stratosphere.co.jp/>をご覧ください。

## ■報道関係お問い合わせ先

■株式会社インターネットイニシアティブ 広報部 村松、川上  
TEL: 03-5259-6310 FAX: 03-5259-6311  
E-mail: [press@ij.ad.jp](mailto:press@ij.ad.jp) URL: <http://www.ij.ad.jp/>

■株式会社ACCESS 広報 半澤  
TEL: 043-212-2230 FAX: 043-212-3234  
E-mail: [prinfo-gr@access-company.com](mailto:prinfo-gr@access-company.com) URL: <http://www.access-company.com>

※ACCESSは、日本国、米国、及びその他の国における株式会社ACCESSの登録商標または商標です。